

平成 16 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイ・イー・エー
 代 表 者 名 代表取締役社長 長 嶋 重 雄
 (コード番号：2394)
 問 合 せ 先 専務取締役経営企画室長 早 原 弘 明
 (TEL. 03-3878-1176)

平成 16 年 3 月期の業績見通しについて

平成 16 年 3 月期 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日) における当社の業績見通しは、次のとおりであります。

【連結通期】

(単位：百万円・%)

項 目	決 算 期	平成 16 年 3 月期 (計画)		平成 15 年 3 月期 (実績)		
			構成比	前年比		構成比
売 上 高		10,307	100.0	145.6	7,081	100.0
経 常 利 益		758	7.4	87.1	871	12.3
当 期 純 利 益		369	3.6	-	355	5.0
1 株 当 たり 当 期 純 利 益		4,065 円 36 銭			4,450 円 09 銭	

(注)連結子会社の株式会社HAA神戸は、平成 15 年 1 月 7 日付で現神戸オークション事業に係る営業の譲受けを行った結果、子会社の重要性が増したため、平成 15 年 3 月期より連結財務諸表を作成しております。連結財務諸表の作成に当たっては、連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表(平成 15 年 1 月から同年 3 月までの 3 ヶ月間)を使用しております。なお、子会社HAA神戸での営業譲受の際に発生した営業権償却(平成 15 年 12 月期から平成 19 年 12 月期までの 5 年間で総額 8,571 百万円を均等償却)が、平成 15 年 3 月期(実績)には 428 百万円、平成 16 年 3 月期(計画)には 1,714 百万円計上されております。

【単体通期】

(単位：百万円・%)

項 目	決 算 期	平成 16 年 3 月期 (計画)		平成 15 年 3 月期 (実績)		
			構成比	前年比		構成比
売 上 高		5,423	100.0	92.8	5,846	100.0
経 常 利 益		990	23.0	111.1	891	15.2
当 期 純 利 益		550	10.1	-	315	5.4
1 株 当 たり 当 期 純 利 益		6,054 円 38 銭			3,950 円 19 銭	
1 株 当 たり 配 当 金		1,850 円			1,700 円	

(注)平成 15 年 3 月期の 1 株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出し、平成 16 年 3 月期の 1 株当たり当期純利益は公募株式数を含めた予定期末発行済株式数 90,890 株により算出しております。なお、予定期末発行済株式数には、オーバーアロットメントの売出しに関連した第三者割当増資(最大 2,100 株)が行われた場合の新規発行株式数は含めておりません。

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行なうに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)」をご覧くださいの上で、投資家ご自身の判断で行なうようお願いいたします。

【平成 16 年 3 月期連結業績見通しの前提条件】

【売上高】

過去の実績を参考として、オークション会場ごとに、オークション開催回数、顧客・会員属性別の出品台数、1 台当たり受取手数料及び成約率を設定し、これに乗じて策定しております。

現車オークション事業については、葛西会場において、前期の水曜日、土曜日の週 2 回開催を期初から従来の水曜日 1 回開催に戻し、また、会員の店頭に置いたまま出品する J A A N E T コーナーを 8 月に終了しております。今期の 1 開催平均出品台数は 4,423 台（週 1 回開催であった前々期と比較するとほぼ同水準）、成約率は葛西第二会場のオープンによるポス席（応札席）の増加を考慮し、前期水曜日開催より 1.8 ポイント改善する 62.1% に、また出品 1 台当たりの手数料は集荷対策のための値引を考慮し前期水曜日開催比 3.5% 減を見込んでおります。

C A T 会場は、地元会員を中心に地道な営業活動を続け、1 開催当たり平均出品台数の対前年同月比は、平成 14 年 8 月以降概ねプラスで推移し、今期は 1,080 台（前期比 13.3% 増）とし、成約率も平成 14 年 8 月以降底打ちが見られ、平成 15 年 2 月、3 月には 50% 超を記録しましたが、保守的に今期は 49.6% に設定し、出品 1 台当たり手数料については大きな変動は見込んでおりません。

H A A 神戸会場（子会社で運営）は、関西最大のオークション会場として規模を拡大し、平成 15 年 1 月にセリ方法を 2 レーン（2 台同時にセリを行う）から 4 レーン（4 台同時にセリを行う）に変更し、従来深夜までかかっていたセリ時間の短縮を行い、同年 2 月に出品車置場を 5,676 坪拡張（約 1,000 台分）したことにより、近隣の中小会場の淘汰が進み、今後も年率 10% 超の高成長が維持できると見込み、今期は 1 開催平均出品台数 6,909 台、成約率 60.6% に設定し、売上高は 4,883 百万円を見込んでおります。

ネットワークオークション事業についての主な売上は、ネットワークオークション端末の賃貸収入となっております。端末は平成 15 年 2 月から新世代端末に変わり、新端末からは、当社が会員にレンタルする形態から、会員が直接リース会社からリースし、当社には情報システム料を支払う取引に変更し、月額収入は旧端末 49,800 円に対し、新端末 32,600 円となり、約 35% の売上高減少を見込んでおります。

以上より、連結売上高は前期比 45.6% 増の 10,307 百万円を見込んでおります。

【売上原価】

単体においては葛西会場における開催回数の減少や J A A N E T コーナーの中止等による業務委託費等の減少、また、ネットワークオークションにおけるネットワークオークション旧システムに関するリース料の大幅な減少等により、前期比 15.0% 減の 2,520 百万円を見込んでおります。

子会社 H A A 神戸は、営業譲受前の兵庫オートオークション当時のコストを参考に、出品車置場借り増しに伴う賃借料の増加、出品台数増加に伴う検査人員費用の増加を織り込み、1,948 百万円を見込んでおります。以上より、連結売上原価は前期比 30.2% 増の 4,468 百万円を見込んでおります。

【販売費及び一般管理費】

単体においては費用の増加要因として、葛西第二会場の稼動に伴う水道光熱費、保守管理費等の増加、株式公開費用、給与のベースアップ等を、減少要因としては、土曜日開催オークションの中止に伴う販売促進費等の減少を織り込んで策定しており、前期比 7.8% 減の 1,852 百万円を見込んでおります。

子会社 H A A 神戸の販売費には、営業譲受の際に発生した営業権償却 1,714 百万円（総額 8,571 百万円の 5 年償却、平成 15 年 1 月より償却開始しており前期償却額 428 百万円）が含まれ、その他、販売促進費の増加や人員増及びベースアップによる人件費増加により、販売費及び一般管理費は 3,070 百万円を見込んでおります。以上より、連結の販売費及び一般管理費は前期比 77.5% 増の 4,922 百万円を見込んでおります。

以 上

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行なうに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行なうようお願いいたします。